

奥州市景気動向調査

実績：令和5年1月～令和5年3月期 見通し：令和5年4月～令和5年6月期

令和5年4月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

◇今期のポイント

「業況・売上DIは業種間に温度差はあるが緩やかな改善 見通しは悪化を示すも先行きに期待感あり」

- 全産業合計の業況DIは▲9.4と、前回調査(▲11.5)から2.1ポイント改善した。
- 全産業合計の売上DIは▲8.1と、前回調査(▲9.1)から1.0ポイント改善した。
- 向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、業況・売上DIともに今期実績よりも若干の悪化見通しではあるが、一部の業種を除き数値が改善傾向を示している。
- 採算DI・資金繰りDIは前回調査よりも改善、仕入単価DIは前回調査よりも悪化を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が強まる結果となった。

新型コロナの感染状況は1月に入り徐々に感染者数が減少、3月13日からは屋内・屋外を問わずマスクは「着用するかどうかは個人の判断」となりコロナ対策は緩和の方向に進みつつある。今回の調査では、コロナ禍で大きな影響を受けた小売・卸売・サービス業で業況の回復傾向が示されたものの、価格高騰をはじめとする経済環境の要因の影響を受けている製造・建設業では悪化傾向を示し、社会活動の在り方のフェーズの変化が垣間見られる結果となった。

向こう3ヵ月の見通しについても、電気・ガス等エネルギー価格の高騰や食品関係の値上げの影響は依然続いているが、政府が1月使用分からの電気・ガス料金補助を打ち出し、新型コロナ感染者数の減少傾向に加え感染対策の規制緩和が進んだ事もあって、若干の悪化見通しを示してはいるもののその幅は小さく、業種によっては大幅な改善見通しを示している。

インボイス制度の準備状況は、申請済・申請予定の回答が前回調査よりも増加し、企業の申請登録が進んでいる事が伺える。賃上げの実施状況については、賃上げを実施した企業が全体の6割を超え、従業員1人当たりの賃金については6割以上が「前年より上昇した」と回答した。

自由意見では、依然として人手不足やエネルギーの高騰を懸念する厳しい見方の声がある一方、「景気が回復傾向にある」「客足がコロナ禍前に戻りつつある」という期待が持てる声も聞かれた。

〔 調 査 要 領 〕

- 調査期間：令和5年4月3日～21日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和5年1月～令和5年3月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

《調査票回収企業数》

回答数248 回収率82.7% (小売46・卸売29・製造53・建設53・サービス67)

※景況判断指数(DI値)について

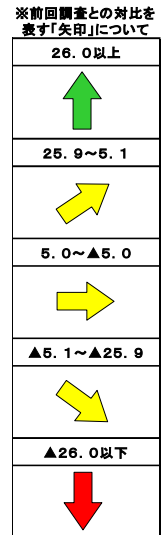
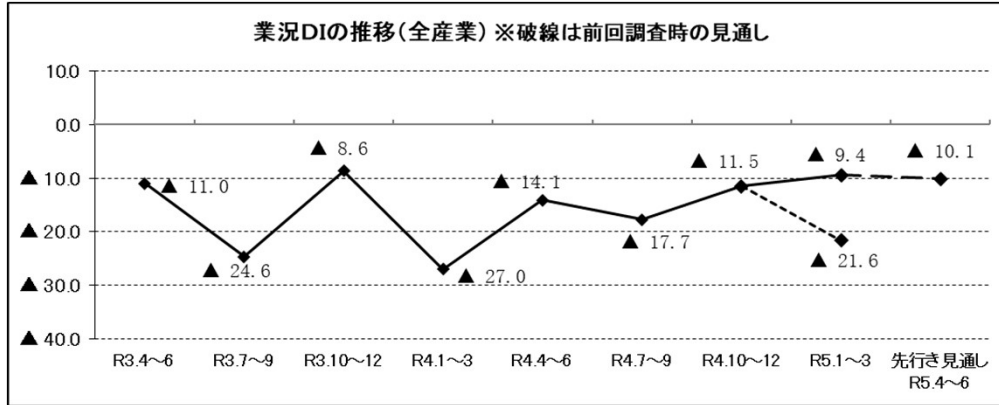
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

【業況D Iの推移】

今回調査の全産業合計の業況D Iは▲9.4と、前回調査(▲11.5)から2.1ポイント改善した。業種別では小売業が▲13.3(前回調査▲20.5)と7.2ポイントの改善、卸売業が0.0(前回調査▲3.7)と3.7ポイントの改善、サービス業が4.6(前回調査▲7.5)と12.1ポイントの改善を示した。一方で製造業が▲11.3(前回調査▲3.8)と7.5ポイントの悪化、建設業が▲26.4(前回調査▲20.8)と5.6ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(4月～6月)の業況D Iの先行き見通しについては、▲10.1と、今期実績よりも若干悪化する見通しとなったが、前回の調査見通し(▲21.6)よりも大幅に改善した。業種別では小売・卸売・建設・サービス業で数値が改善の見通し、製造業で数値が悪化の見通しを示している。



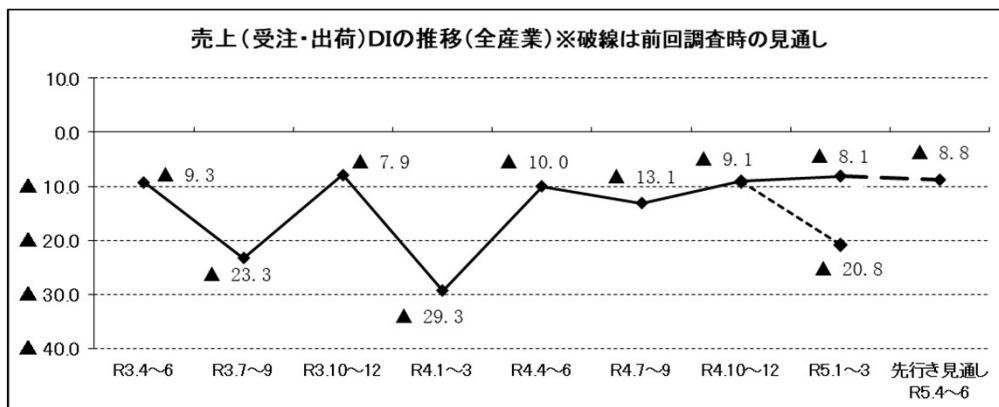
業況DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲13.3	→ 0.0	↘ ▲11.3	↘ ▲26.4	↗ 4.6
前回	▲20.5	▲3.7	▲3.8	▲20.8	▲7.5
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲11.9	↗ ▲13.8	↘ ▲24.5	↗ ▲18.0	↗ 10.9
前回	▲20.0	▲22.2	▲17.6	▲36.5	▲13.6

【売上D Iの推移】

今回調査の全産業合計の売上D Iは▲8.1と、前回調査(▲9.1)から1.0ポイント改善した。業種別では小売業が▲6.5(前回調査▲27.3)と20.8ポイントの改善、卸売業が▲3.4(前回調査▲11.1)と7.7ポイントの改善、サービス業が3.0(前回調査▲1.5)と4.5ポイントの改善を示した。一方で製造業が▲5.7(前回調査9.6)と15.3ポイントの悪化、建設業が▲28.3(前回調査▲20.8)と7.5ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(4月～6月)売上D Iの先行き見通しについては、▲8.8と今期実績よりも若干悪化する見通しとなったが、前回の調査見通し(▲20.8)よりも大幅に改善した。業種別では小売・卸売・建設・サービス業で数値が改善の見通し、製造業で数値が悪化の見通しとなった。特にサービス業は大幅な改善の見通しを示している。



売上DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲6.5	↗ ▲3.4	↘ ▲5.7	↘ ▲28.3	↗ 3.0
前回	▲27.3	▲11.1	9.6	▲20.8	▲1.5
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↗ ▲4.5	↗ ▲13.8	↘ ▲18.9	↗ ▲24.5	↑ 10.8
前回	▲22.2	▲25.9	▲3.9	▲34.6	▲20.0

【採算・資金繰り・仕入れ単価・従業員D I】

採算DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲20.7	↔ ▲13.0	↔ ▲17.2	➡ ▲28.3	➡ ▲34.6	↔ ▲10.6
前回	▲24.0	▲31.8	▲33.3	▲15.4	▲28.8	▲17.9
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ ▲19.5	↔ ▲18.2	↔ ▲27.6	➡ ▲22.6	↔ ▲32.0	↔ ▲4.6
前回	▲29.2	▲26.7	▲40.7	▲20.0	▲40.4	▲24.2

全産業合計の採算DIは▲20.7と、前回調査(▲24.0)から3.3ポイント改善した。業種別では小売・卸売・サービス業で数値が改善、製造・建設業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

資金繰りDI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲12.7	↔ ▲8.9	↔ ▲17.2	➡ ▲11.3	➡ ▲13.2	➡ ▲13.8
前回	▲14.5	▲22.7	▲11.1	▲7.7	▲13.2	▲16.7
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲11.8	↔ 2.4	↔ ▲17.2	↔ ▲15.1	➡ ▲20.0	↔ ▲9.5
前回	▲15.8	▲17.8	▲11.1	▲7.8	▲20.8	▲18.5

全産業合計の資金繰りDIは▲12.7と、前回調査(▲14.5)から1.8ポイント改善した。業種別では小売・サービス業で数値が改善、建設業で数値が変わらず、卸売・製造業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

仕入単価DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ ▲80.2	↔ ▲87.0	➡ ▲85.7	➡ ▲83.0	➡ ▲81.1	➡ ▲69.8
前回	▲78.3	▲70.5	▲88.5	▲84.6	▲84.9	▲69.2
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↔ ▲76.8	↔ ▲88.6	↔ ▲71.4	↔ ▲79.2	➡ ▲78.0	➡ ▲67.7
前回	▲71.4	▲64.4	▲84.6	▲74.0	▲77.4	▲64.1

全産業合計の仕入単価DIは▲80.2と、前回(▲78.3)から1.9ポイント悪化した。業種別では卸売・製造・建設業で数値が改善、小売・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(下落)-(上昇)

従業員DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 37.6	↔ 29.5	↔ 37.9	➡ 22.6	↔ 52.8	➡ 42.4
前回	35.8	19.5	29.6	26.9	47.2	46.3
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	➡ 37.7	↔ 31.0	➡ 31.0	↔ 22.6	↔ 54.0	➡ 44.6
前回	35.7	21.4	29.6	28.0	47.2	43.9

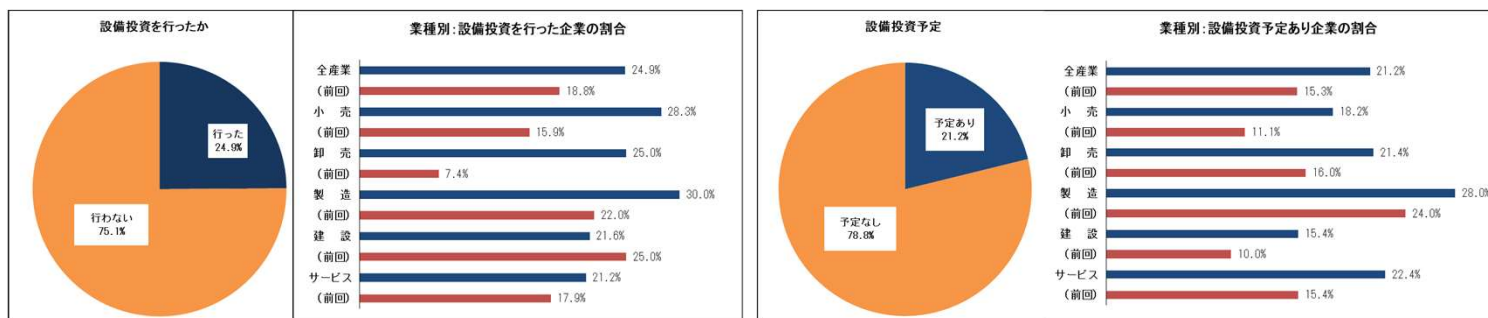
全産業合計の従業員DIは37.6と、前回(35.8)から1.8ポイント人手不足感が強まる結果となった。業種別では小売・卸売・建設業で人手不足感が強まり、製造・サービス業で人手不足感が緩和する結果となった。

※DI値=(不足)-(過剰)

【経営環境】

天候の影響(%)	好影響	影響なし	悪影響	人件費率(%)	上昇	変化なし	低下	業種間競争(%)	緩和	変化なし	激化
全産業	12.7%	71.3%	16.0%	全産業	44.4%	50.2%	5.4%	全産業	1.2%	68.2%	30.6%
(前回)	6.4%	75.3%	18.3%	(前回)	41.5%	54.7%	3.8%	(前回)	0.9%	68.4%	30.8%
小売業	11.4%	68.2%	20.5%	小売業	45.5%	50.0%	4.5%	小売業	2.2%	62.2%	35.6%
(前回)	11.6%	76.7%	11.6%	(前回)	38.1%	59.5%	2.4%	(前回)	0.0%	64.3%	35.7%
卸売業	22.2%	63.0%	14.8%	卸売業	33.3%	63.0%	3.7%	卸売業	0.0%	75.0%	25.0%
(前回)	14.8%	59.3%	25.9%	(前回)	33.3%	66.7%	0.0%	(前回)	0.0%	70.4%	29.6%
製造業	4.0%	90.0%	6.0%	製造業	43.1%	49.0%	7.8%	製造業	1.9%	71.2%	26.9%
(前回)	2.0%	89.8%	8.2%	(前回)	51.0%	42.9%	6.1%	(前回)	2.0%	71.4%	26.5%
建設業	20.0%	62.0%	18.0%	建設業	46.2%	48.1%	5.8%	建設業	2.0%	56.9%	41.2%
(前回)	5.9%	64.7%	29.4%	(前回)	44.0%	52.0%	4.0%	(前回)	2.0%	58.8%	39.2%
サービス業	10.6%	69.7%	19.7%	サービス業	47.8%	47.8%	4.5%	サービス業	0.0%	75.8%	24.2%
(前回)	3.1%	78.5%	18.5%	(前回)	37.9%	57.6%	4.5%	(前回)	0.0%	75.4%	24.6%

天候の影響は、全産業で好影響が12.7%、影響なしが71.3%、悪影響が16.0%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が44.4%、変化なしが50.2%、低下が5.4%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が1.2%、変化なしが68.2%、激化が30.6%という回答となった。



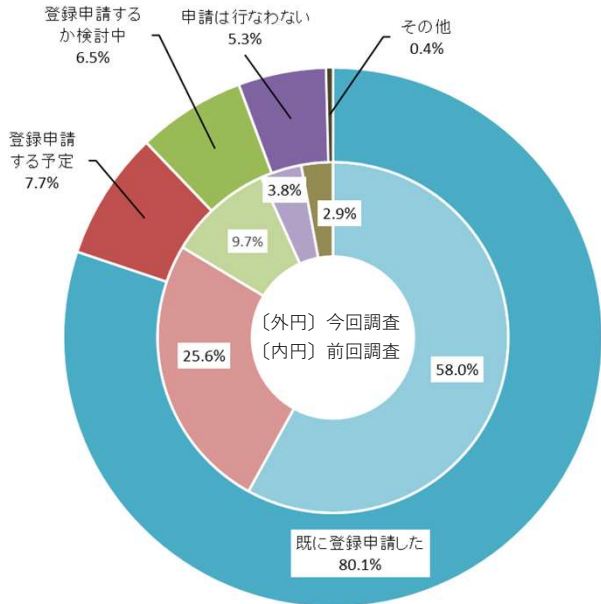
設備投資は全産業で24.9%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(18.8%)よりも増加した。今後設備投資の予定があると答えた事業所は21.2%となり前回調査(15.3%)よりも増加した。

【臨時調査】インボイス制度について（前回調査比較）

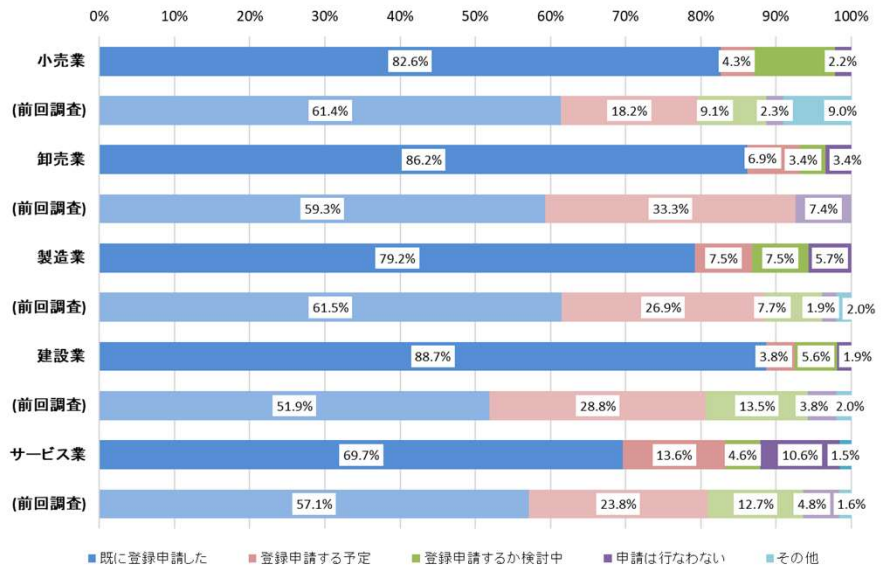
インボイス制度の登録状況について、比較を行うため再度前回調査と同じ設問を行った。

インボイス発行事業者として登録する予定はあるかを聞いたところ、前回調査では業種全体で「既に登録申請した」が58.0%だったのに対し、今回調査では80.1%と申請済の割合が大幅に増加した。「登録申請する予定」については前回調査25.6%に対して今回調査は7.7%となった。「既に登録申請した」「登録申請する予定」合わせて前回調査83.6%に対し今回調査87.8%となり、インボイス制度の登録が進んでいる事が伺える。また「申請は行わない」が前回調査よりも増加しており、制度の登録に対する企業側の対応が明確になってきたことが伺える。

インボイス発行事業者として登録する予定はありますか(全業種)

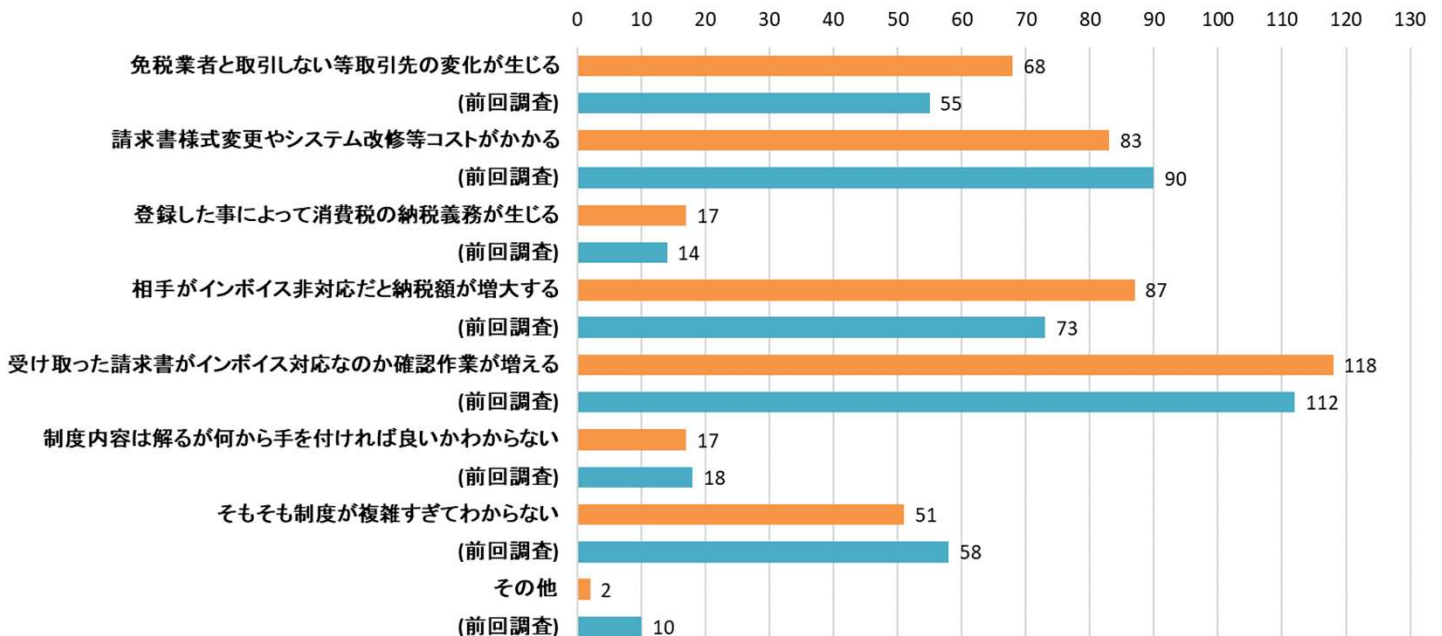


インボイス発行事業者として登録する予定はありますか(業種別)



同じく前回調査同様インボイス制度の導入に伴いどのような影響があると考えられるかを複数回答で聞いたところ、業種全体では「受け取った請求書がインボイス対応なのか確認作業が増える」が118件、「相手がインボイス非対応だと納税額が増大する」が87件、「請求書様式変更やシステム改修等コストがかかる」が83件となり、ほぼ前回と同じ回答結果となった。また「そもそも制度が複雑すぎてわからない」「制度内容は解るが何から手を付ければ良いかわからない」という意見も見受けられ、10月1日の導入までに引き続き制度に関する細やかな支援が必要である事も伺える。

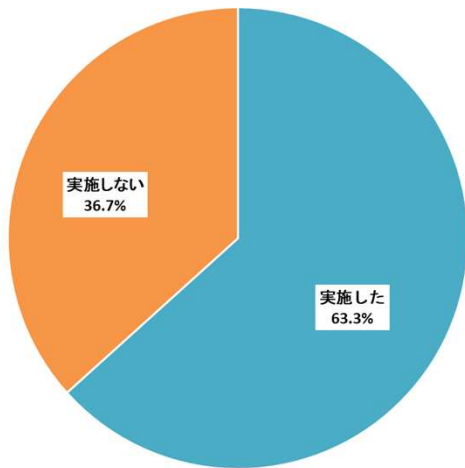
インボイス制度の導入に伴いどのような影響があると考えられますか※全業種(複数回答:件)



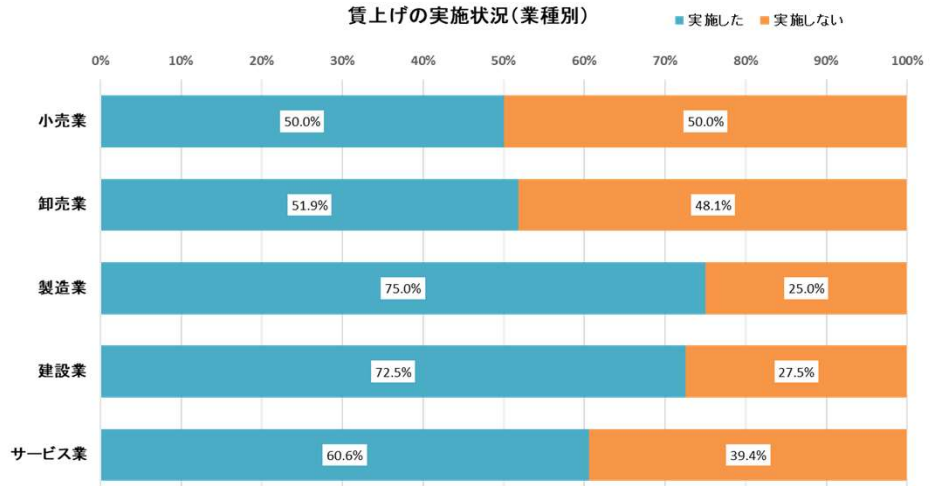
【臨時調査】賃上げについて

昨年4月以降今年3月にかけて、賃金の引き上げ（昇給・ベースアップ・手当の新設・賞与等一時金の支給増額など）を実施したか聞いたところ、業種全体で「実施した」が63.3%、「実施しない」が36.7%となった。業種別では製造・建設・サービス業で「実施した」が60%を超え、小売・卸売業でも「実施した」が半数を占めている。

賃上げの実施状況(全業種)

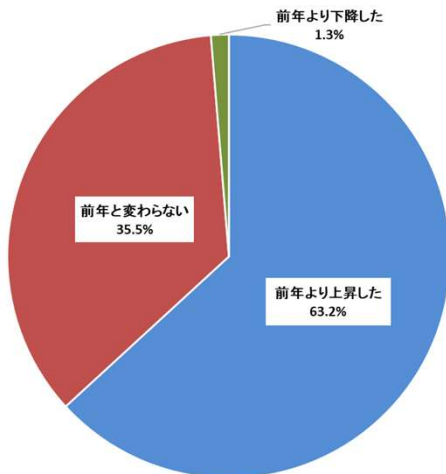


賃上げの実施状況(業種別)

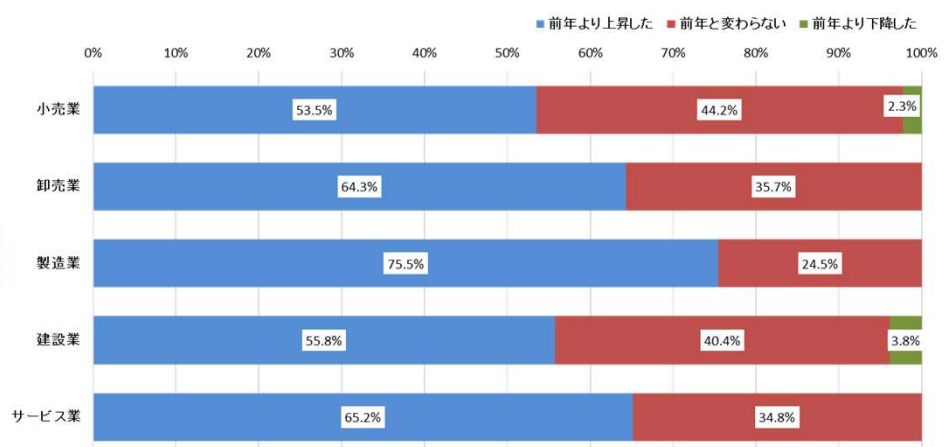


令和5年4月時点の従業員1人当たりの賃金について、前年同期との比較を聞いたところ、業種全体では「前年より上昇した」が63.2%、「前年と変わらない」が35.5%、「前年より下降した」が1.3%となった。業種別でも全業種で「前年より上昇した」が50%を超えている。

前年同期と比較した従業員1人当たりの賃金(全業種)



前年同期と比較した従業員1人当たりの賃金(業種別)



【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・メイプルの閉店で街が閑散とし、来店数の減少が売上減少に繋がっている。
- ・光熱費のアップにより採算が悪化している。
- ・SNS等で自社のファンを増やすべく日々更新しているが、即効性がない。
- ・コロナが明けたような雰囲気を感じる。

(卸売業)

- ・桜の開花が当地方のみならず全国的に早い単純に喜んでいられない、異常気象そのものだと思う。SDGs経営を目指していくことが急務と考える。
- ・全体的に人口減少・高齢化に加えて物価上昇と条件が悪いため、一部を除いて苦戦が続くと思う。
- ・観光、ビジネス共に人手が多くなりコロナ前に戻りつつある。

(製造業)

- ・人材確保に窮している

(建設業)

- ・人手不足は喫緊の課題であるが、順調に推移している。
- ・コロナは落ち着きだしてきたが、景気は回復していない気がする。
- ・どこへ行っても人手不足の声が聞こえる。そこにつけ賃金の大幅上昇で零細企業は対応が難しい。

(サービス業)

- ・やっと景気が回復してきたという感じがする。
- ・3月は家族で外食や送別会の来店が多かった。
- ・老朽化した施設を譲渡されて売上が伸びない中、維持コストが掛かり過ぎて収益性を悪化させている。
- ・店舗の修繕と新規事業を計画している。

◇奥州市景気動向調査票《実績1～3月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに○をつけ「4月12日(水)」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名 _____

(1) 業 種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

A 小売業 B 卸売業 C 製造業 D 建設業 E サービス業

(2) 業況判断：あなたの企業の業況は、前年同期(1月～3月)から見てどのような状況と判断されますか？

① 1～3月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(3) 売上高：売上高(受注高・出荷高)は、前年同期(1月～3月)から見てどうですか？

① 1～3月実績

増加	変わらず	減少
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

増加	変わらず	減少
----	------	----

(4) 採 算：採算は、前年同期(1月～3月)から見てどうですか？

① 1～3月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(5) 資金繰り：資金繰りは、前年同期(1月～3月)から見てどうですか？

① 1～3月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(6) 仕入単価：仕入単価は、前年同期(1月～3月)から見てどうですか？

① 1～3月実績

下降	変わらず	上昇
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

下降	変わらず	上昇
----	------	----

(7) 従業員数：従業員数は、前年同期(1月～3月)から見てどうですか？

① 1～3月実績

不足	適正	過剰
----	----	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

不足	適正	過剰
----	----	----

(8) 経営環境：1月～3月の経営状況について、該当する項目にお答え下さい。

①天候の影響

好影響・影響なし・悪影響

 ②人件費率

上昇・変化なし・低下

 ③業種間競争

緩和・変化なし・激化

④設備投資

行った・行わない

 ⑤設備投資予定(今後3ヵ月以内)

予定あり・予定無し

◎臨時調査(1) インボイス制度導入と準備について

令和5年10月1日から導入されるインボイス制度について、前回調査との比較を行うために引き続き同じ設問をします。

(9-1) インボイス制度の導入に伴い、貴事業所ではインボイス発行事業者として登録する予定はありますか

- ・既に登録申請した
- ・これから登録申請する予定
- ・登録申請をするか検討中
- ・登録申請は行わない
- ・その他 ()

(9-2) インボイス制度の導入に伴い、どのような影響があると考えられますか(複数回答)

- ・免税事業者と取引しない等取引先の変化が生じる
- ・登録した事によって消費税の納付義務が生じる
- ・受け取った請求書や仕入先がインボイス対応なのか確認作業が増える
- ・そもそも制度が複雑すぎてよくわからない
- ・請求書様式変更やシステム改修等のコストがかかる
- ・相手がインボイス非対応だとその分納税額が増大する
- ・制度内容は解るが何から手を付ければ良いかわからない
- ・その他 ()

◎臨時調査(1) 賃上げについて

(10-1) 昨年4月以降今年3月にかけて、賃金の引上げ(昇給・ベースアップ・手当の新設・一時金(賞与)の支給増額等)を実施しましたか。

実施した	実施しない
------	-------

(10-2) 従業員1人当たりの賃金は、令和5年4月と前年同期(令和4年4月)と比較してどうなりましたか。

前年より上昇した	前年と変わらない	前年より下降した
----------	----------	----------

(11) その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。